

入院診療計画書「前立腺全摘除術を受けられる

さんへ」 No.1

(病名) (症状) (説明日) 年 月 日 (ご本人・ご家族) 確認サイン

月日	/		/		/		/		
経過	入院時		手術前日		(手術前)	手術当日	(手術後)	術後1日目	
到達目標	手術の必要性が理解でき心身の準備ができる					術後合併症を起こさない			
治療処置	手術前日までに麻酔科医の診察があります		15時に下剤を服用していただきます 下腹部・陰部の毛を切ります		7時に洗腸をします 回診後点滴をします 術衣に着替えます		 回診時、医師が傷の観察やガーゼの交換をします 止血剤や抗生剤の点滴をします 腹部に余分な血液や分泌物を出すための管が入ります 尿の管が入ります 背中に麻酔用のチューブが入ります 食事開始まで吸入(超音波ネブライザー)をします		
手術	□無 ・ □有 (術式:)								
検査	採血・検尿・レントゲン・心電図・CTの検査があります 身長・体重を測ります		 眠れないときは安定剤の内服ができます		血圧や心臓の薬など服用する必要がある場合はご連絡します		痛み止めの座薬など、苦痛の状態に応じて薬剤を使用します  採血があります		
薬剤服薬指導	日頃服用している薬があればお知らせください 服用を中止する薬があればご連絡します								
全身管理症状	体温・脈拍・血圧を測ります 排尿状態をうかがいます 尿を貯めていただきます 腹式呼吸の訓練をします 喫煙されている方は禁煙してください		  		手術後は適宜、体温・脈拍・血圧を測ります 痛みや吐き気がないかどうかをうかがいます 傷や尿の観察をします 酸素吸入をします		朝、酸素吸入を止めます		
食事栄養指導	特別な栄養管理の必要性 <input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 必要に応じて栄養状態を良くするための支援を行います。 普通食あるいは治療食になります		24時以降は何も食べれません 飲水はできます		9時以降は何も食べたり 飲んだりできません		手術後はICUに泊ります 午前中にICUを出ます		
安静度	制限はありません				ベッド上で安静です 許可があるまで起き上がったり 寝返りはできません		 ベッドの操作で起き上がることができます		
清潔	入浴できます 				洗腸後、シャワーに入ります 		看護師が体を拭き、更衣をお手伝いします		
患者・家族への説明	主治医が治療計画や手術について説明します 検査によっては入院前に行なう場合があります 看護師が入院生活について説明します 術後の尿漏れ予防のための「骨盤底筋運動」をおすすめします 治療・福祉などのご相談がある場合は、看護師か相談員にお尋ねください 手術の必要物品を確認します		手術同意書・輸血同意書をお預かりします 手術室看護師が訪問します 		手術は()からの予定です 手術室へは歩いて行きます		主治医が手術の経過について説明します 尿の管は引っ張った状態で太ももに固定します 止血、傷の離開や管の閉塞を防ぐためです  		

※症状により、予定と異なる場合があります。分からないことがあればお気軽に主治医や看護師にお尋ね下さい。

※なお、この計画書を病院側から受け取られた後は、患者さんの責任の下、保管していただきますようお願い申し上げます。






(病棟 号室) 主治医

印 担当看護師署名

担当者署名

入院診療計画書「前立腺全摘除術を受けられる

さんへ」No.2

(病名)	(症状)	(説明日)	年	月	日	(ご本人・ご家族)	確認サイン
月日	/	/					
経過	術後2日目	術後3日目	術後4～7日目		術後8日目～		退院時
到達目標	術後合併症を起こさない				尿漏れが改善され、退院に向けた準備ができる		
治療 処置		術後7日目に傷の糸を半分とります	術後8日目に傷の糸を全部取ります		状態によっては追加加療を行います		
	→	夜、点滴が終了します	術後4日目に腹部の管を抜きます				
	→		術後7日目膀胱尿道造影検査後、尿の管を抜きます				
	→	麻酔用チューブを抜きます					
手術	□無 ・ □有 (術式:)						
検査		膀胱尿道造影検査があります	膀胱尿道造影検査があります		術後1週間目に採血・検尿があります		
薬剤 服薬指導	食事開始後より、常用薬を再開します		点滴終了後、抗生剤を服用していただきます(7日間)				薬剤師が退院後の服薬について説明します 
	術前に中止していた薬を再開する場合はお知らせします						
全身管理 症状			尿の管を抜いた後は、尿を貯めていただきます		尿漏れの量を測定し、記録していただきます		退院後は以下に注意してください ・傷の痛みがある ・尿が出にくい ・血尿や尿が濁る ・発熱 傷や腹部に力がかかる動作は避けてください
			尿漏れの量を測定し、記録していただきます				
栄養	排ガスの確認後 朝: 飲水できます 昼: 流動食 夕: 3分粥 	朝: 5分粥 昼: 7分粥 夕: 全粥	朝～手術前の食事になります				
安静度	自力で座ることができます	ベッドサイドに座ったり、ポータブルトイレに移動することができます 膀胱尿道造影検査の結果、歩行許可となります 					
清潔			ウォシュレットや専用ボトルを使用し陰部の清潔を保ちます	傷の糸をとった翌日からシャワーができます 			
患者・家族 への説明	飲水許可後は、尿の勢いを保ったり尿をきれいにするため、水分を十分に摂ってください 		尿漏れの程度や期間は個人差があります 尿漏れの状態に応じて、リハビリパンツや尿とりパットの使用を検討します	主治医が退院前に、検査の結果について説明します 		退院の手続方法や次回受診について説明します 原則として退院は午前中にお願います (土日は午後からになります)	
			骨盤底筋運動が尿漏れの改善に有効です				

※症状により、予定と異なる場合があります。分からないことがあればお気軽に主治医や看護師にお尋ね下さい。

※なお、この計画書を病院側から受け取られた後は、患者さんの責任の下、保管していただきますようお願い申し上げます。

(病棟 号室) 主治医 印 担当看護師署名 担当者署名